

令和6年度 白川小学校経営の概要について

校長 西川 浩

<はじめに>

本校は、亀山市の北西部に位置し、校歌に歌われる明星ヶ岳を望みながら、棕川、前田川の流れる、山間地の豊かな自然に囲まれた場所にあります。学校創立125年目をむかえ、現在の全校児童数は40名です。白木地区と小川地区とを合わせて白川地区と称することから、「白川」が校名の由来となっています。地域は、白川地区まちづくり協議会が中心となって自治的活動に取り組まれており、白川小学校の様々な行事や教育活動を支えていただいています。また、PTA活動も熱心に取り組まれており、白川小学校はあたたかい地域の雰囲気につつまれた学校であります。今後も地域・保護者と連携した教育活動を推進し、本校の特徴と言える白川小学校を核にしたコミュニティとのつながりを、より一層大切にしていきます。

本校の校舎は、昭和29年に建てられた木造校舎で、平成21年8月に国の登録有形文化財に指定されました。70年前に建てられた小学校が今も使用されているのは大変珍しく、現在もなお創建当時の面影を残していることから、子どもたちをはじめ保護者、地域の方々にも愛されています。

また、本校では、平成15年度より小規模特認校制度が実施されており、校区外の児童が白川の環境や小規模ならではの多岐にわたる体験活動、きめ細やかな学習への取り組みなどに期待を寄せ、本制度を活用して入学及び転入するご家庭があります。現在、9名の児童がこの制度を利用しています。

このような環境の中で、子どもたちが自然の恵みを体いっぱいを受け、自分たちの故郷である白川地区のよさを改めて知るとともに、多くの先人が創り上げてきた白川の歴史や伝統、文化を引き継いでほしいと考えています。そのために、心豊かな教育文化の継承と確かな教育活動の創造を学校経営の基本に据え、この地域に生まれ育っている自信と誇りを育みつつ、未来をたくましくしなやかに生きる力を備え、自分を発揮し求め続ける児童の育成に取り組んでいきたいと考えます。

<学校経営のねらい>

- (1) 子どもの生活全体にゆとりを持たせ、子どもが主体的に活動できる時間を確保する。家庭・地域・学校が相互に連携しながら、豊富な自然体験、社会体験を通して、自ら学び考える力や心豊かな人間性を育む。【徳育】
- (2) 一人ひとりの子どもに目を向け、基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、自発的に学習に取り組む子どもを育む。【知育】
- (3) 豊かな自然に囲まれながら、地域を愛する心身共に健康な子どもを育む。【体育】
- (4) 豊かな体験活動を通して、まとめ、発表し、表現する力を育む。